

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和2年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立津久井障害者地域活動支援センター
指定管理者名	特定非営利活動法人竹の子作業所
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市立津久井障害者地域活動支援センター条例
施設の設置目的	障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を行い、もって障害者の福祉の増進に寄与する。 ※障害者総合支援法第5条第27項に規定する地域活動支援センターⅢ型を実施
施設概要	開館時間:午前9時30分から午後3時30分まで 休館日:土曜日、日曜日、祝祭日及び12月29日から翌年の1月3日まで 年間開所日数:239日 敷地面積:416.89㎡ 延床面積:229.67㎡ 主な施設:作業室、事務室、食堂兼集会室、更衣室、トイレ
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	3,697	3,761	3,723	2,374			
収入総額(円)	16,803,317	16,571,949	18,638,732	18,760,417			
支出総額(円)	16,803,317	16,571,949	18,638,732	18,760,417			

※令和元年度から、施設修繕費を指定管理料に含めたことなどから収支が増額しているもの。

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>D</b>	新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、令和2年4月から1年間、感染対策を講じつつ、感染状況等を考慮して一日の利用者を最大5~13人に制限※した。引き続き、コロナ対策を十分に講じた上で魅力ある施設運営をお願いします。※制限した人数を目標値に設定した場合は、「11.00」で、実績と比較すると達成度は、91.1%となることから「B」評価に値する。

指標	
指標名(単位)	開所日1日当たりの平均利用者数 単位:人
指標式と指標の説明	施設を利用し日中活動や地域との交流事業に参加することにより、障害者の地域における自立した日常生活や社会生活の促進が図られるため、1日当たりの平均利用者数(年間延利用者数÷開所日数)を成果指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	14.10	14.15	15.50	15.50	15.50	15.50	15.50
実績値(人)	15.00	15.50	15.05	9.93			
達成度(%)	106.4%	109.5%	97.1%	64.1%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が楽しみにしている恒例の行事についてはほぼ中止となり、「生産活動を提供する業務」を中心に行ってきたと考えられる。今後は、感染対策を行いつつ、コロナ禍でも利用者が楽しめる新たなレクリエーション等を検討してほしい。</p> <p>また、「利用の促進に関する業務」については、令和2年度も新たな利用者がいなかったことから、早急に当該業務の実施やその内容について検証を行う必要がある。</p>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
相談支援	通年	利用者等に係る状況の把握(毎日)、情報提供及び助言並びに相談指導(必要に応じて随時実施)	○
連絡調整	通年	利用者等に対して指定障害福祉サービス事業者及び医療機関等と連絡調整(相談支援事業所とモニタリング実施時期に連携)	○
地域における連携	通年	地域における障害福祉に関する関係者による連携(様々な地域の情報等を共有するために社協や市保健センターと連携)	○
センターの機能強化業務	通年	サービス管理責任者研修修了者による個別支援計画作成業務等(毎年4月作成)	○
生産活動を提供する業務	通年	就労支援を目的とした企業の請負作業及び自主製品製作販売の活動(プラスチック製品の分解や箱の組立などの作業を提供し工賃を支払)	○
地域交流に係る業務	通年	地域での各種行事に参加し、障害者及び障害児の保護者又は介護者との地域交流(新型コロナウイルス感染症の影響により各種行事は中止)	/
地域活動支援	通年	施設開放(竹の子祭)、ボランティア(習字講師など)・実習生(津久井養護学校等)の受入れ等を行う(新型コロナウイルス感染症の影響により、津久井養護学校からの実習生の受け入れ以外は中止)	○
センターの在り方の検討	通年	今後のセンターの在り方について、センターの抱える課題を鑑みながら、市と協議を行う(家族会や職員からの意見等について市と協議)	○
利用の促進に関する業務	通年	施設及び事業の広報・PR、利用者サービスの向上等に関する業務(新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた竹の子祭の開催、ポスターやポスティングを中止)	○

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
野外活動/野外実習	4月・5月・9月	お花見会/あじさい見学/日帰り研修旅行(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	/
健康支援	3月～12月	体育館レクリエーション(元気にパワーアップ体操)(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	/
調理実習	通年	利用者の調理指導(利用者・指導者)月1回(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	/
給食サービス	通年	利用者の給食の提供(給食ボランティア)月2回(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	/
習字教室	通年	利用者の書き方指導(習字ボランティア)月1回(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	/

## 5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	アンケート調査では、「不満がある」との回答は無く、ほとんどの利用者が「利用して良かった」と回答され、2年連続で目標値を達成した。今後も引き続き、利用者やその家族などのニーズをしっかりと把握しつつ、個々の利用者に向けた支援等を期待する。 ※「ふつう」の選択肢については、検討が必要

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者16名に対して11月にアンケートを実施
目標値の基準	「職員の対応はいかがですか」との問いに対する4段階評価のうち「良い」、「ふつう」と回答した方の割合の合計

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	91.1	91.7	92.3	92.9	/	/	/
実績値 (%)	80.0	85.0	92.3	100.0	/	/	/
達成度 (%)	87.8%	92.7%	100.0%	107.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
利用者、来所者意見箱	通年	センターに直接、意見や要望等を伝えることができない利用者及び来所者のために常時意見箱を設置した。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	収支は436千円の赤字である。 法人の経営は、当該指定管理事業に依存しており、人件費が増加したため若干の欠損が生じている。固定資産保有が少なく、正味財産は殆ど預金で保有し、事業収益の5ヶ月分を有している。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入 (a)		15,672	16,974	17,313
	指定管理料	14,619	16,005	15,952
	利用料金収入			
	補助金 (コロナ対策関連)			600
	利用者生産活動収入	1,053	969	761
支出 (b)		14,907	16,430	17,749
	人件費	10,885	12,082	12,958
	利用者生産活動給与	1,053	969	761
	上記以外	2,969	3,379	4,030
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		765	544	-436
自主事業収入 (d)		0	0	0
自主事業支出 (e)		0	0	0
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】		765	544	-436
備考	令和2年度全体収支の赤字分は、前年度からの繰越金により充当している。 令和2年度の自主事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	施設所管課職員による現地確認及び指定管理者へのヒアリング	
実施時期	令和2年8月18日（火）	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	改善済	パソコンのセキュリティ対策が一部なされていなかったが改善済み(7/26確認)
情報公開・個人情報保護	改善済	文書管理に関する規程が作成されていなかったが改善済み(7/26確認)
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 指定管理者の自己評価

令和2年度も主に企業から受注したプラスチック製品の分解やシール貼りなどの軽作業やクリーン石鹸・刺子等の自主製品の作製を中心に支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、年間工賃が、前年比54,375円減額（一人当たり1,133円/月の減額）となった。※令和2年度一人当たり2,641円/月

生産活動以外に予定していた利用者のリフレッシュや健康支援を図ることを目的とした野外活動や体育館で元気にパワーアップ体操、社会での適応と自立の向上を図ることを目的とした調理実習や習字教室は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、利用者が楽しみにしていた活動を行うことができなかった。

利用者や家族からのニーズを把握するために利用者満足度調査、保護者アンケート、保護者を対象とした将来についての聞き取りを行った結果、親亡き後の当事者の生活について、引き続き検討しなければならないとの意見が多かった。

また、今後の施設の在り方（障害福祉サービス事業所への移行）については、市と協議を進めており、今後も利用者をはじめ、保護者会や支援している職員からの意見を踏まえながら検討を進める。

なお、昨年度のモニタリングで指摘を受けた「新たな利用者の受入れの検討」や「生産活動に係る新たな請負作業の開拓」等については、コロナの影響により進めることができなかったが、令和3年度から具体的に取り組んでいく予定である。

## 9 所管課意見

- ・早い段階から新型コロナウイルス感染症対策に力を入れて取り組んでおり、施設内で利用者同士が密の状態とならないように利用者やその家族の状況に配慮しながら一日の利用者数の制限を一年間行った。また、利用者帰宅後には、毎日30分掛けて施設内の消毒を行った点は評価する。
- ・コロナ禍で、利用者が楽しみにしている行事がほぼ中止になっているにも関わらず、利用者の満足度が高い状況にあることは、職員の日頃からの心のこもった支援の賜物であると考えられる。
- ・一方で、令和2年度も平成27年度を最後に引き続き新規の入所者がいない状況が続いていることから、特に施設のある津久井地域の方に当該施設を選んでいただけるよう、広報・PRをはじめ、今後の運営方法について早急に検討し市と協議することを求める。

## 10 選考委員会意見

### 【評価した点】

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、施設内で密とならないよう、緊急事態宣言や全国の感染状況を考慮しながら、一日当たりの通所者数を制限し、在宅となった利用者に対しても電話等により支援を行ったこと。
- ・コロナの影響により、ほとんどの事業が中止となったものの、利用者の満足度が良好であったこと。

### 【今後期待する点等】

- ・施設利用者の新規受入れが長期間にわたり行われていない点は、公立施設（指定管理者制度導入施設）に期待される役割として疑問を持たざるを得ない。
- ・8.指定管理者の自己評価にある「今後の施設の在り方（障害福祉サービス事業所への移行）」については、喫緊の課題と考える。
- ・生産活動に係る請負作業等について、利用者は、何年も同じ作業をされている状態がある。利用者が自立した社会生活を送るためには様々な作業を体験することが必要であることから、新たな作業を提供していただける企業を開拓していく必要がある。
- ・指定管理料の余剰分については、備品購入や修繕など利用者支援等のために還元するよう検討して欲しい。
- ・現在の「利用者の満足度」を調査する方法は、母数が少ないことから、結果に偏りが出してしまうことが想定されるため、年2回以上実施するなど調査の実施方法について検討して欲しい。
- ・新型コロナウイルス感染症の対策を講じて、利用者が安心・安全に利用できるような施設運営を行うこと。

### 総合評価（自動判定）

C

(45/100)

